週報
2026 5/13
No.31
RI第2620地区
静岡第1グループ

三島ロータリークラブ
第3271回・通常例会

■会長:小野　徹君■幹事:星合義弘君
●司会:太田成幸君
■URL:http://mishima-rc.com

会長挨拶

会長　小野　徹君

5／9の、「第4回・親子ふれあいこどもサッカー大会」にはご苦労様でした。当日は、三島市内に加えて、清水町からも参加があり、14園の15チーム、約146名の子供たちが参加し、大盛況でした。昨年の第3回大会には、13チーム、138名の参加でしたから、今年はさらに参加者が増えたということで、保護者の声援もすごかったですね。担当の、ロータリー財団委員長の山田敏博君、社会奉仕委員長の小松大輔君をはじめ、参加チームのまとめ役をしていただいた杉村君、瀬川君、加藤頌吾先生や、お手伝いいただいた会員の皆様に心から感謝を申し上げます。また、例年の通り、アスルクラロ沼津からは、選手2人、スタッフ2人が駆けつけてくださり、準備体操の面倒を見てもらいました。お手伝いいただいた日本大学三島高等学校・知徳高校のインターアクトクラブからは、およそ40人の参加で、中には日大 三島中学のインターアクト5人にも参加してもらい、本当に助かりました。お世話をいただいた加藤真理子青少年奉仕委員長をはじめとする皆さん、ありがとうございました。終わった後の反省会には、日大、知徳のインターアクト担当の先生方や、サッカー大会に参加された保育園・幼稚園の園長先生方にもおいでいただきましたが、「インターアクトの生徒たちが、イキイキしていた」という言葉がありました。私も、このサッカー大会が、ロータリーだけでなく、インターアクトが一緒になって運営しているというところに、大きな意義があると思います。また、飛び入りで、宮澤淳子さんが「めいやす」のぬいぐるみで、会場を盛り立てていただきました。皆様、本当にご苦労様でした。

話は変わりますが、5／10には、下田RCの65周年があり、堀内ガバナー補佐と、私と、星合幹事で参加してきました。会場は、いつもの例会場でもある下田プリンスホテルで、ここは、ロケーションもよくて、例会の食事もおいしいのですが、65周年の食事も本当においしい料理でした。祝宴には、コンパニオンが来ていなくて、7人の芸者が呼ばれていて、ちょっとした踊りを踊りましたが、余興はそれだけという簡素なものでした。会費は一人15，000円で、65周年ということで、無理をしないコンセプトかなと思いました。

もう一つ、今日から静銀の長田さんが参加されています。一日も早く、皆さんに解け込めるように、ご協力をお願いして、挨拶とします。

ゲスト・ビジター

長田　大さん

張　傑さん（米山奨学生）

出席報告

	出席総数	出席率	
今　回	33／43	76．74％	会員総数：43名

＜欠席者＞
・小沼君　・加藤（頌）君　・河田君　・木下君　・小松君
・斎藤君　・佐藤（良）君　・宮内君　・山本君　・米山君

幹事報告

幹事　星合義弘君

・青森県東方沖地震の義援金ですが、22，556円集まりました。ご協力ありがとうございました。
・次年度会員名簿に変更のある方は直接事務局にお申し出下さい。
・例会会場の呉竹より次年度昼食費値上げの打診がありました。
・5月9日開催の親子ふれあいサッカー大会に参加された方はメイクアップとなります。
・5月10日開催の下田ロータリークラブ創立65周年式典に、小野会長、堀内ガバナー補佐と私で出席しました。
・本日の卓話はクラブ協議会です。4月26日開催の地区研修、協議会の報告を行っていただきます。
・例会終了後に理事・役員会を開きます。
・次回例会は5月20日通常例会、宮沢淳子君の卓話です。

CLLS報告

瀬川尊也君

先日、静岡市ツインメッセで開催されました「Club　Leadership Learning Seminar」に参加してまいりましたので、報告させていただきます。実際に集まっての研修は、コロナ明け初ということで、私も初めて参加させてもらいました。
次年度幹事の綾部さんのお陰で、非常にスムーズに研修に参加することができました。参加者も非常に多く、ロータリーの組織力を体感したと共に、準備にあたったところは大変だなと思いました。
今回のセミナーでは、主に二つのテーマが取り上げられました。一つ目は、クラブ奉仕活動の後方支援と、地区奉仕活動への支援・協働参画についてです。クラブの活動を単に「実施する」だけでなく、その活動をいかに支える仕組みをつくるか、という視点がありました。地区との連携においても、与えられた役割をこなすのではなく、主体的に協働していくことが求められているという気づきを得ました。
二つ目は、卓話バンクの設立についてです。卓話のテーマや講師情報を蓄積・共有していく仕組みで、毎回の卓話準備に頭を悩ませているクラブにとって、非常に実践的なアイデアだと感じました。わがクラブでも参考にできる点があるのではないかと思っています。
引き続き、学びをクラブの活動に活かしてまいりたいと思います。

宮澤淳子君

ロータリーに入る前と入った後の感想を討議しました。私はロータリーに入る前はどんな事やるんだろう？みなさんに馴染んでいけるか不安がありましたが、入会させていただき、ロータリーの皆様にお会いして思った事は、流石、ロータリアン。みなさんのオーラがすごいと感じました。こんなすてきな方々とご一緒できて光栄です。また可愛がっていただけたらと思いました。みたいな発表をしたと思います。
パワー浜松RCの方が2名いて、2人とも女性でした。お父様の会社を継がれて、お父様がロータリーに入っていたこともあり、ご自身もロータリーに入られたとおっしゃっておりました。
パワー浜松RCは例会が朝7:00～だそうで、皆さん朝からパワフル例会されていると言う事でした。
あとは、お父様が現在ロータリーに入っており、同じロータリーに自分も入ったので、親子で同じロータリーで活動されているとのことでした。親子で同じロータリーというのは初めてだそうです。私はこの話しを聞いて小野会長も息子サンを三島RCにお誘いして親子活動されたら、三島RCの会員も増えるしいいなぁーと思いました。

会員祝事

会員誕生日：宮沢正美君
入会記念日：宮沢正美君
結婚記念日：宮沢正美君　中山章一君

勝又規博君

まず、感想となりますが、久しぶりにツインメッセに行きましたが、周辺に必要な商店などが揃っており、会場の広さや機能と共に「さすが静岡市」という感じを受けました。さらに、会場に入ると前方舞台の両脇にスクリーンを設置し、後方にはカメラマンや音量ミキサー等の方々が控え、コンサートさながらの映像と音響の提供で進められ大変見聞きしやすい設営でした。
分科会については、新会員ということで、入会3年未満の方々のグループに入れさせていただきました。「クラブに入る前と入ってからで何が変わったか」との課題について意見交換を行いました。私は、自身が入会前にはプータローのような生活を送っていたので、定期的に例会が開催されることは私にとってのペースメーカーが出来た感じがあり、人生の支えとなっているということを伝えました。全体的な内容としては、ロータリーはこのように広いエリアに仲間が居て、何かあればちゃんと交流も出来るんだということを教えていただきました。
最後に、今回は藤枝南クラブの方々がホストでありましたが、これだけのイベントを計画して実行し成功裏に収めるということは並大抵のことではないと思います。近い将来、当クラブも大規模イベントを開催することがあろうかと思いますが、その時には団結力をもって素晴らしい成果を残したいと思います。私も微力ではありますが役に立てるよう頑張って行きますので、今後もどうぞよろしくお願い申し上げます。

大庭治美君

米山記念奨学会のカウンセラーとして参加いたしました。
分科会に分かれての研修会では、参加人数の半数近くの方がカウンセラーの経験者でした。私もカウンセラーの経験済みですが新しい留学生を迎えて緊張しております。
奨学生が例会に出席する意味は、広く世話クラブの会員の方々と交流し,いろいろな知識、経験を積み、自国と日本の未来につなげる架け橋となる事にあります。又クラブ主催のイベントの参加や他クラブの訪問を積極的に行う事等のお願いがありました。又、セクハラやパラハラ等の説明があり積極的に参加者は質問しておりました。大変有意義な研修会でした。
今年度の奨学生の張君をよろしくお願い致します。

スマイルBOX

●小野徹君
①今日から長田さんが参加します。よろしくお願いします。②親子ふれあいサッカー大会では、皆さんにお世話になりました。③母、愛子が5月2日で100才を迎えました。ピンピンしています。

●杉村伸二郎君
4月25日おかげ様で長男が結婚しました。ありがとうございます。

●小松大輔君・山田敏博君
子供サッカー大会、無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

●宮澤淳子君
親子ふれあいサッカー大会おつかれさまでした。ペンたんがおじゃましました。お世話になりました。ありがとうございました。

●小野毅君
早退します。

第４回・親子ふれあいこどもサッカー大会

園児146人 元気いっぱいゴールへ

三島でサッカー大会

三島ロータリークラブは9日、第4回親子ふれあいこどもサッカー大会を三島市民体育館で開いた。同市と清水町の14の幼稚園などに通う年長児が懸命にゴールを目指した。

過去最多の146人が参加し、合同チームを含む15チームが3組に分かれて総当たり戦と、トーナメント戦で競った。園児は保護者の声援を浴びながら元気よくプレーし、恵明キッズサクラビレッジのチームが優勝した。

日本フットボールリーグ（JFL）のアスルクラロ沼津の選手も駆け付けて一緒に体を動かし、日大三島高と知徳高のインターアクトクラブの生徒が運営を手伝った。

懸命にゴールを目指す子どもたち＝三島市民体育館